

宗内寺院紹介 47

近畿教区第一部

聖龍山 天鷲寺



①本堂1階天鷲寺縁起大壁画 ②本堂1階 常行堂 ③護摩堂(本堂別棟2階)
④本堂前景 ⑤総本堂根本堂(本堂2階)

近畿教区第1部
聖龍山 天鷲寺

住 所 / 〒543-0074 大阪市天王寺区六万体的町3-18
電話番号 / 06-6771-4519

延暦二十四年七月、傳教大師が入唐求法天台佛法御將來帰朝記念として開創された此の寺は、当時は盛福寺という官寺であった。
時代の変遷や織田信長の比叡山焼き討ちなどで憂慮された後陽成天皇が勅諭を以て傳教大師ゆかりの盛福寺を聖龍山天鷲寺として復興し、天皇の帰依僧である涅槃宗の開祖及意上人(住友の御曹司)を住職として入山させたが、徳川の天下となり涅槃宗は排絶され、及意上人は江戸へ召喚された。代わって天海大僧正が入山して比叡山延暦寺と直結し、現在に至る。
明治維新の排佛棄釋や大東亜戦争で焼土と化した戦後の都市復興計画で、区画整理された境内地を現在の住職澤田圓明が整理整備し、傳教大師御開創寺という天鷲寺の沿革に鑑み、五十年がかりで諸堂を復興し、御本山を奉じて諸行事が奉修出来るよう住職はじめ寺内一同努力精進している。